



数え方でみかく日本語
飯田朝子・著 筑摩書房
日本語には、なぜたくさん数え方があるのでしょうか。一つ一つ覚えるのは面倒でも、日本語は、数え方で多くの情報を伝えてくれます。知れば知るほど日本語の数え方の面白さがわかる一冊。

瀬戸内市文化祭 親睦カラオケ発表会

市内で活動しているカラオケのグループによる文化祭カラオケ発表会を開催します。

▽日時 7月1日(日)

午前9時～午後6時

※文化祭とは別日程で、カラオケ発表会のみ開催です。

▽場所 中央公民館

▽入場料 無料

■問い合わせ先

中央公民館

わくわくチャレンジ

夏の星空を観察しよう

7月のわくわくチャレンジ(長船)では、「星座ウォッチング」として、星空観察を行います。

星空を眺めて、天体や宇宙



天の川(イメージ)

に思いをはせてみませんか。

▽日時 7月27日(金) 午後6時30分～午後8時30分

※小雨決行。

▽場所 長船美しい森(長船町磯上3076-1)

▽講師 美星天文台職員

▽参加費 無料

▽定員 100人

※7月1日から受付開始。先着順・定員になり次第締切。

■問い合わせ・申込先

長船町公民館

わくわくチャレンジ 絵画教室

8月のわくわくチャレンジ(邑久)では、絵画教室を開催します。

▽日時 8月5日(日)

午前10時～正午

▽場所 中央公民館

▽定員 小学生20人

※7月1日から受付開始。先着順・定員になり次第締切。

■問い合わせ・申込先

中央公民館

▽参加費 無料

▽持ち物 筆記用具、絵の具セットやクレパス

■問い合わせ・申込先 中央公民館

わくわくチャレンジ 世界に一つのおもちゃ作り

7月のわくわくチャレンジ(邑久)では、発泡トレイやペットボトルのふたなどの身近な材料を使ったおもちゃを作ります。皆さんも自分でおもちゃを作ってみませんか。

▽日時 7月28日(土)

午前10時～正午

▽場所 中央公民館

▽講師 せとうちおもちゃの病院の皆さん

▽定員 30人

※7月1日から受付開始。先着順・定員になり次第締切。

■問い合わせ・申込先

中央公民館



▽参加費 無料

■問い合わせ・申込先

中央公民館

Books



大人になるヒント

中沢けい…著 メディアパル

中学生の頃は、「世界と出会う時代」。どんな風に人は自分の生きている世界と出会うのか、著者が自身の体験をもとにわかりやすく説明します。中学生の皆さんだけでなく、既に大人になった皆さんも、自分と現代の若者の共通点が発見でき、大人である自分を見つめ直すことができます。

今月の月末図書整理日(お休み)は、**7月31日(火)**です。
■貸出し・問い合わせ先
瀬戸内市立図書館 ☎0869-22-3761
長船町公民館図書室 ☎0869-26-2501
牛窓町公民館図書室 ☎0869-34-5663
HP <http://lib.city.setouchi.lg.jp/index.htm>



巻の九十

尻海が生んだ彫刻一家

井上家三代(錦海・鶴峰・仰山)

かつて、瀬戸内市邑久町尻海には、井上家という彫刻一家がありました。もともと、井上家は廻船業者であったと言いますが、明治から昭和にかけて、錦海・鶴峰・仰山と三代続いて工匠・彫刻家を輩出しました。

井上錦海

錦海は、文化12(1815)

年、錦海の長男として尻海に

井上鶴峰

鶴峰は、嘉永3(1850)

年、錦海の長男として尻海に

井上仰山

仰山は、明治19(1886)

年、鶴峰の

長男として

尻海に生ま

れ、名を直

伍といいま

した。

東京美術

学校(現東

京藝術大

学)彫刻科

を首席で卒

生まれ、名を幸治(幸二、幸吉、幸太郎とも)といました。幼少のころから父に師事し、彫刻に優れ、斬新な意匠が注目されたといえます。社寺修復やだんじり、机・花台などを制作しました。大正8(1917)年没。

井上家の作品

業したあと帰郷し、父の元で仏像や茶道具などを手掛けたほか、備前焼の置物制作を指導しました。昭和40(1965)年没。

井上家の作品

錦海・鶴峰は、だんじり彫刻を各地で手掛けました。地元尻海のだんじり彫刻は、裏面に錦海・鶴峰の銘や制作年代が書き入れられているため、資料としても非常に貴重なものです。西町だんじり(写真①)は錦海作で、鳳凰などが刻されています。市場町だんじり(写真②)は

鶴峰作で、源頼政の禪退治が主題となっています。また、東町だんじり(写真③)も鶴峰作と伝えられています。このほかにも、牛窓だんじりのうち沖だんじりを、津山だんじりのうちの4台を手掛けたことが分かっています。また、備前福岡郷土館には仰山作の「平井武策翁像」(写真④)が展示されています。瀬戸内市が生んだ匠の作品を、大切に伝えていきたいものです。

【参考文献】

『邑久町人物誌』『邑久町史文化財編』『牛窓町史民俗編』『津山の祭り』とだんじり』

